

2008年5月27日開催 第528回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
岸本卓也委員 國定 浩一委員 黒田勇委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務
西岡ラジオ局長 三村制作局長 東編成局長 熊報道局長
木田コンプライアンス室長 横田スポーツ局長 竹原プロデューサー

◆テレビ番組「2008つるやオープンゴルフトーナメント」

4月26日(土) 16:00~16:54

4月27日(日) 15:30~16:54

第528回番組審議会は5月27日に開かれ、テレビ番組「2008つるやオープンゴルフトーナメント」を審議しました。このトーナメントにはプロデビューしたばかりの注目の新人、16歳の石川遼選手が出場しましたが、優勝争いには届かない成績でした。優勝争い、そして人気選手という2つの要素をスポーツ中継番組でどう伝えるかなどについて意見が出されました。

委員の主な意見は次の通り。

*石川選手にインタビューをする場合にアナウンサーは「ですます調」でやって大人の扱いだったが、先輩の解説の人などは「石川君」と呼んでいた。「君」は目下という感じがすごくする。16歳といえどもプロの選手だから大人扱いの言葉にしたほうがいいと思う。

*優勝争いはきちんと伝え、石川選手はハイライト、インタビューという形で紹介し、バランスのとれた番組だ。

*優勝争いよりも個人の選手のほうを優先するように視聴者がなってきた。それに

負けているのはスポーツ中継の敗北だ。思い切って中継のあり方を根本で問い直す時期に来ている。

* 石川選手の量、番組としてバランスはいい。いわゆるヨイショ番組にもならず、かといって、さらっとでもなく、その出ぐあいというのは好印象を持った。ゴルフをあまり知らない僕でも見たいなと興味を持てた。

* 「イケメン・・・」という表示が気になった。子供たちがこれを見たときに、顔がよくないと注目されないのかと受け止めるかも。夢を与えられるかという視点でこうした表示は出してほしい。

* 石川選手と、優勝争いの2つにあまりにも気を配り過ぎて、ゴルフの実におもしろいところ、あるいは伝統あるトーナメントのよさの解説が足らなかった。

* 過剰な演出もないし、石川選手の取り上げ方もよかった

見る立場によって、石川選手の露出量のバランスが、気になる人と気にならない人がいるだろう。

* ゴルフ番組とは別に中長期にドキュメンタリーをつくる試みもしてほしい。これからの若者たちがどうなっていくのか、21世紀の新しい時代を生きていく若者というのは。そんな視点で今の若者たちに語りかけていくようなメッセージ性のあるものができるのではないかな。

◆ 「^{パラダイス}ランキンの楽園」の放送内容にかんする注意喚起について

毎日放送のテレビ番組「^{パラダイス}ランキンの楽園」(毎週金曜日18時55分～ MBS制作 JNN28局ネット)の5月23日放送で「中・高年健康チェックランキング」を紹介しましたが、この中の「ティッシュ箱飛ばし」をして骨折等のけがをしたと

の視聴者の方からの7件(5月27日段階)の連絡がありました。

制作局長が事実経過、そして番組やホームページでの注意喚起のお願いなど毎日放送の対応について報告しました。

◆ 毎日放送 テレビの現状

ネットワーク、視聴率の調査方法、MBS発の全国ネット番組などテレビの現状について、編成局長が報告しました。